


# 都市戦略部 成果報告

都市戦略部長 國枝俊昭

## 部局達成度

			
-	14	-	6

## 総括

今年度は、市中心部での民間主体によるまちづくり事業が進む中、歩行者・自転車通行量や公共交通の利用者数が増加しました。

まちづくりに関しては、「ハピリン」で生み出された賑わいがまちなかへ波及していく兆しが見え始めたこと、また、公共交通に関しては、通勤通学以外の利用者が増えたことが要因の一つと考えています。

「ハピリン」はオープンから3年目の今年度も、開催されるイベントには集客力があり、来館者数はほぼ前年度並みを維持しています。また、北陸新幹線の福井開業が近づいていることで、中心部での地価の上昇やまちづくりへの民間の開発意欲は高まっています。平成30年10月には、国から都市再生緊急整備地域（福井駅周辺地域）に指定されました。再開発等の民間による開発意欲がさらに高まる取組を進めていきます。

福井都心地区特定景観計画区域に、新たに「福井城址周辺ゾーン」を追加指定しました。今後、まちの景観を魅力あるものとするため、景観法及び福井市景観条例に基づく届出制度や支援制度を活用し、良好な景観形成の誘導に取り組みます。さらには商工労働部やまちづくり福井(株)と連携しながら既存の個店や商店街の魅力向上に取り組むことで中心市街地全体に賑わいが波及、創出されるように取り組んでいきます。

公共交通に関しては、えちぜん鉄道及び福井鉄道交通圏地域公共交通網形成計画に沿って、引き続き交通事業者と連携して利用者を増やすとともに、県、えちぜん鉄道・福井鉄道両鉄道事業者と協力しながら災害に強い鉄道とし、できるだけ多くの方から便利、快適とと思っていただけるよう努力します。

交通安全推進団体や関係機関、警察等と連携し交通事故防止活動や高齢者や幼児等を対象に交通安全教室を開催し、意識の向上に努めた結果、死者数、人身事故件数、傷者数は前年以下に抑制することができました。また、国体開催に向けた交通マナー向上や開催期間中の交通事故防止に努めました。

各種行政課題の解決には、統計情報の有効活用が重要です。統計分析が施策の展開につながるよう、職員が利用するデータベース「データの広場」の充実を図るとともに、調査分析力を高めるための研修を継続して実施し、データ分析方法などについて相談や支援を行います。

## 組織目標ごとの達成状況

- ・次代に向けた県都の顔にふさわしい魅力と賑わいを創出するため、多様な都市機能の集積やハピリンによって生み出された新たな賑わい、まちなかにあふれる緑を活かしながら、民間のまちづくりを支援し、「県都デザイン戦略」を推進します

北陸新幹線福井開業を見据えた、民間事業者が主体となったまちづくり計画が複数動き出しており、そのうち駅前電車通り北地区再開発事業は3月に都市計画決定を行いました。また、福井駅周辺地域が都市再生緊急整備地域として10月に国の指定を受けたことにより民間主体の再開発事業を支援し、都市機能の強化を図ることが可能になりました。

今後は、これらの再開発事業等を支援することで、中心市街地の賑わい創出を図ります。しかし、中心市街地活性化の指標である「歩行者・自転車通行量」は、前年度と比較して、9.1%増加しましたが、目標を達成できませんでした。引き続き、ハピリンによって生まれた賑わいを近隣商業地に波及させることを目指します。

JR福井駅から中央公園までの歴史資源をつなぐ城址周辺の道路整備が福井国体までに完成し、快適で分かりやすい歩行者動線を形成することができました。

福井駅周辺土地区画整理事業では、県都の玄関口にふさわしい都市環境の形成に向け進めてきた東口御園通りや東口北線の整備や換地処分を行い、着実に事業を完了することができました。

来年度は、民間主体のまちづくりへの支援やハピリンによって生まれた賑わいを中心市街地に波及させるため、城址周辺の整備を進めながら、周辺商店街などの関係団体と連携を強化し中心市街地活性化を推進します。「県都デザイン戦略」の推進に着実に取り組み、北陸新幹線福井開業時には県都の顔にふさわしい魅力と賑わいとなっているよう取り組みます。

- ・歴史や自然など地域の特性を活かした景観を守り、創り、育て、良好な景観を形成します

県庁線沿線において、歩いて楽しいまち並みの実現に向け、沿線住民と協議を重ね、県庁沿道景観まちづくり計画(案)を作成しました。また、福井都心地区特定景観計画区域に、新たに「福井城址周辺ゾーン」を追加指定することができました。

今後、景観法及び福井市景観条例に基づく届出制度や支援制度を活用し、良好な景観形成の誘導に取り組みます。

- ・人口減少が進展するなか、居住や都市機能の適正な誘導を図り、福井の地域特性に応じた公共交通ネットワークの構築に取り組むことで、一定の人口密度が維持されたコンパクトなまちづくりと公共交通が連携した持続可能な都市づくりを推進します

これからの人口減少を見据え、公共交通と連携したコンパクトなまちづくりを進めるため、立地適正化計画の策定を進めており、平成 29 年度に作成した居住誘導区域の素案を基に、関係機関との協議や意見聴取を行い、居住誘導区域を設定しました。また、公共交通の利便性の向上及び確保維持のため、鉄道ではパークアンドライド駐車場の拡充や P R、田原町ミュージアの運営、えちぜん鉄道の高架駅の供用開始を行い、バスでは循環路線の新設、ジャンボタクシーの路線化、ルート見直し等による路線の再編や、効率化のための鉄道との交通分担による減便などを実施しました。さらに、住民や各種団体、交通事業者と共に、地域の公共交通機関の利用促進についての各種の取組を実施しました。

来年度以降は、「福井都市計画マスタープラン」に基づき総合的な評価、検証を行いながら目指すべき将来都市像を実現していくとともに、地域や交通事業者などの関係者と連携しながら地域鉄道、路線バスをはじめ、地域が運営主体となる地域コミュニティバスやデマンドタクシー等の運行に取り組み、まちづくりと公共交通が連携した持続可能な都市づくりを進めていきます。

- ・交通事故の少ない安全で安心なまちをつくるため、交通安全対策を推進します

福井市交通指導員会などの交通安全推進団体や福井・福井南両警察署などの関係機関と連携し、四季の交通安全市民運動等で交通事故防止活動を実施しました。また、交通安全指導員による交通安全教室を開催し、高齢者や幼児等に対し、交通安全意識の向上に努めた結果、死者数、人身事故件数、傷者数は前年以下に抑制することができました。

また、国体・障スポの開催にあわせて交通マナー向上の街頭啓発活動を実施したほか、競技会場付近では交通指導員による交通整理を行うなど、国体・障スポに係る交通事故防止活動を実施しました。

高齢者運転免許自主返納事業では、郵送による申請受付を開始し、より利用しやすい体制を整えましたが、自主返納者数は前年と比べて減少しました。

来年度以降は、引き続き教育効果の高い体験型交通安全教室を中心に体験を通じた交通安全普及啓発に重点的に取り組むほか、高齢ドライバーに対し一層の啓発に努め、交通事故の少ない安全で安心なまちづくりを推進します。

- ・関係機関と連携し、高速交通ネットワークである北陸新幹線の開業に向けた施策の検討に積極的に取り組みます

北陸新幹線の大阪までの早期全線開業に向け、北陸新幹線関係都市連絡協議会において、関西自治体との合同研修会を実施することにより、情報の共有化を図りました。今後も沿線自治体及び関西自治体との連携強化を図り、国に対し一日も早い大阪までのフル規格での整備及び財源確保を強く要望していきます。

また、北陸新幹線福井駅の利便性及び快適性向上のために、福井駅東口拡張施設整備事業を進めており、今年度は実施設計において、平面図、外観図及び内観図がまとまりました。引き続き、鉄道・運輸機構、JR西日本など関係機関と協議を進めます。

さらに、並行在来線については、「経営・運行に関する基本方針」が策定されました。今後も並行在来線の開業に向けて、利便性向上及び利用促進策等の検討を進めてまいります。

**・市民・来街者の身近な移動手段である自転車を都市交通の一つとして再認識し、自転車を利用して安全で快適に移動できるまちをつくります**

市中心部における自転車走行空間整備の推進として、高校生の自転車通学が多い3路線を選定し、整備に向けた取組を進めることができました。

また、自転車の利用促進を図るため、企業を対象とした自転車利用サポーターの認定及びまちなかレンタサイクル「ふくチャリ」の事業推進、広域サイクリングコースの選定を行いました。

鉄道などの公共交通機関と自転車を合わせて利用するサイクルアンドライドを推進するため、えちぜん鉄道福井口駅に自転車駐車を整備しました。

今後、公共施設やコンビニ等において空気入れや簡易工具の貸出を行っている「自転車の駅」の周知及び利用啓発を強化し、自転車利用者の利便性の向上に努めていきます。

**・行政課題の解決に向けて、調査・分析力を高め、各種統計調査の積極的な利活用を図るとともに、公共データの活用を促進するため、積極的に行政情報を提供します**


公共データは市民共有の財産であるという意識の下、市民にとって興味深く、利用分野が多いデータを精査し、本市ホームページの「オープンデータパーク」に掲載することで、誰もが自由に公共データを使用できる環境の充実に努めました。また、各種行政課題の解決には、統計データの有効活用が重要となるため、職員が利用するデータベース「データの広場」の充実に図るとともに、職員の分析力を高めるため研修を実施するなど、データ利活用の促進を図りました。


公共データの活用を促進するため、引き続き、市民及び市職員に対して積極的に行政情報を提供していきます。


**・適切で合理的な公共事業推進のため、監督職員の施工体制点検を通して公共工事の品質確保に努めます**

今年度は3件の工事で工事監察の指摘を受けました。今後は、都市戦略部で指摘されたことだけでなく、他の部署で指摘されたことも部内で十分検証し、部全体で職員の技術力の向上に努めます。また、適切な時期に工事現場の施工体制の点検を行うことで、適正な工事の執行と品質の確保を行っていきます。

- 次代に向けた県都の顔にふさわしい魅力と賑わいを創出するため、多様な都市機能の集積やハピリンによって生み出された新たな賑わい、まちなかにあふれる緑を活かしながら、民間のまちづくりを支援し、「県都デザイン戦略」を推進します

1	民間主体のまちづくりへの支援	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
計 画	<p>北陸新幹線福井開業を控えた県都の玄関口である福井駅周辺や城址周辺において、魅力ある市街地環境の整備を図るため、今年1月に策定した福井駅・城址周辺地区市街地総合再生計画に基づいた民間主体の再開発や共同建替えへの支援を行います。</p> <p>さらに、国の都市再生緊急整備地域の指定を受けることで、民間再開発事業における民間側の財源が確保しやすい環境を整えます。</p>		
取組内容	<p><b>優良建築物等整備事業</b>          中央1丁目10番地地区          ・埋蔵文化財調査(2月)          ・解体工事完了(3月)          ・建築工事着手(3月)</p> <p><b>市街地再開発事業</b>  <b>駅前電車通り北地区</b>          ・基本計画作成(8月)          ・準備組合区域変更、「駅前電車通り北地区市街地再開発準備組合」から「駅前電車通り北地区A街区市街地再開発準備組合」に名称変更(8月)          ・「駅前電車通り北地区B街区市街地再開発準備組合」設立(9月)          ・準備組合による任意説明会(12月)          ・都市計画の決定等に向けた説明会(12月)          ・都市計画審議会(3月)          ・都市計画決定(3月)</p> <p><b>駅前南通り地区</b>          ・基本計画作成(3月)</p> <p><b>都市再生緊急整備地域</b>          ・都市再生緊急整備地域(福井駅周辺地域)の指定(10月)</p>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
民間主体によるまちづくりへの支援件数		民間主体によるまちづくりへの支援件数	
： 3件(優良建築物等整備への支援含む)		： 3件	
優良建築物等整備への支援		優良建築物等整備への支援	
： 1件		： 1件	
都市再生緊急整備地域の指定		都市再生緊急整備地域の指定	
成果・課題	<p>中央1丁目10番地地区優良建築物等整備事業については、2月に埋蔵文化財調査、3月に解体工事が完了し、同月に建築工事着手、平成33年1月に完成予定です。事業規模の拡大に伴う設計変更等の事由により完成予定時期が遅れていますが、早期の完成を目指し、事業推進を図るよう支援します。</p> <p>市街地再開発事業について、駅前電車通り北地区は、7月に予定していた準備組合からの都市計画手続き依頼が12月となり、3月に都市計画決定しました。A街区については、来年度中に事業計画認可、権利変換認可を経て補償交渉に入ることができるよう、B街区については、来年度中に事業計画認可されるように、各準備組合と連絡を密にし、連携強化を図ります。</p> <p>駅前南通り地区は、3月に基本計画を作成しました。来年度中の都市計画決定を目指し、円滑に事業が推進するよう準備組合に対して状況に応じた相談、支援等を行います。</p> <p>都市再生緊急整備地域については、都市再生特別措置法に基づき、平成30年10月に、民間都市開発事業を支援し都市機能の強化を図るため、都市開発を通じて緊急かつ重点的に市街地の整備を推進する地域として指定されました。</p>		


2	福井駅周辺整備の完了（福井駅周辺土地区画整理事業の完了）	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	<p>福井駅周辺土地区画整理事業では、福井駅付近連続立体交差事業とともに、県都の玄関口にふさわしい都市環境の形成、東西交通の円滑化と東西市街地の均衡ある発展を図るために、東西広場や都市計画道路の整備等を行ってきました。</p> <p>今年度は事業完了に向けて、残っている道路整備や換地処分を行い、着実に事業が完了するように各種業務を行ってまいります。</p>		
	取 組 内 容	<p>事業計画・換地関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画変更の認可 (7月)</li> <li>・換地計画の認可 (8月)</li> <li>・換地処分通知の発送 (8月)</li> <li>・換地処分完了の公告 (12月)</li> <li>・清算金確定通知の発送 (1月)</li> <li>・完工式の開催 (2月)</li> </ul> <p>整備工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1号公園 完成 (4月)</li> <li>・日之出公園 完成 (6月)</li> <li>・東口御園通り 完成 (1月)</li> <li>・東口北線 完成 (1月)</li> </ul>	
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
進捗率： 98.6%（29年度） 100%（30年度）		進捗率： 100.0%	
成 果 ・ 課 題	<p>平成 30 年度の事業完了に向けて、福井県が施行するえちぜん鉄道高架化事業と協議や調整を行いながら、日之出公園、東口御園通り、東口北線などの整備工事を進め、順次供用を開始してきました。</p> <p>また、事業計画の変更及び換地計画の認可を順次取得し 12 月に換地処分完了の公告を行い、2 月に完工式を開催し事業を完了することができました。</p>		

3	中心市街地活性化の推進	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
<b>目 標</b>	<p>「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会の開催や北陸新幹線福井開業など、まちなかの賑わいと人の交流を創出する好機が訪れています。</p>		
	<p>ハピリン開業による新たな賑わいをまちなか全体へと波及させるため、周辺施設や関連団体とさらに連携を密にし、中心市街地全体で連動したイベントや回遊性を高めるイベントの開催により、中心市街地の活性化を推進します。</p>		
<b>取 組 内 容</b>	<p>ハピリン（にぎわい交流施設）事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者による指定事業（毎月）</li> <li>・定期的に地元情報誌や観光情報誌等に特集記事掲載（随時）</li> <li>・開業2周年記念イベント（5月）</li> <li>・バックステージ見学ツアー（8月）</li> <li>・国体関係者向けガイドブック制作配布（9月、10月）</li> <li>・すまいるスケートハピリンク（12月～2月）</li> </ul>		
	<p>モール販売促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モールテナント紹介映像制作放映（大型ビジョン）</li> <li>・開業2周年祭（4月）</li> <li>・ハピリンおかえりな祭（ガラガラ抽選会）（8月、1月）</li> </ul> <p>歩行者・自転車通行量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通行量調査実施（7月、10月）</li> </ul>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<p>ハピリン入込客数 ： 279万人（29年度）      280万人（30年度）</p>		<p>ハピリン入込客数 ： 277万人</p>	
<p>ハピリン来場者数 ： 52万人（29年度）      53万人（30年度）</p>		<p>ハピリン来場者数 ： 51万人</p>	
<p>歩行者・自転車通行量 ： 32,332人（29年度）      40,000人（30年度）</p>		<p>歩行者・自転車通行量 ： 35,290人</p>	
<b>成 果 ・ 課 題</b>	<p>ハピリン入込客数及び来場者数は目標を達成できませんでした。これは前年度の5、6月に開催された全国城下町シンポジウムや全国花のまちづくり大会のような大型イベントが今年度は開催されなかったことの影響があったと考えられます。また、ハピリン入込客数及び来場者数ともに、前年度比較でわずかに減少しましたが、歩行者・自転車通行量については前年度比9.1%増となったことから、ハピリンで生み出された賑わいが、まちなかへ波及していく兆しが見え始めたと考えられます。</p>		
	<p>今後、中心市街地における再開発事業等の進捗によって、一時的な賑わいの低下が懸念されますが、引き続き、ハピリンの賑わいをまちなかへ更に波及させるため、近隣の商業施設や各種団体と連動したイベント等の開催を積極的に取り組んでいきます。</p> <p>歩行者・自転車通行量は目標を達成することができませんでした。前年度に比べて増加しているものの、7月に猛暑日が続いた影響による来街意欲の低下や、まちなかでの滞在時間の減少など、通行量の著しい増加につながらなかったと考えられます。</p>		


4	「県都デザイン戦略」の推進	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
<b>目 標</b>	<p>「県都デザイン戦略」に基づき、引き続き中央公園に誘うための城址周辺道路の工事を進めます。また、水道記念館の利活用及び三秀公園の再整備については、足羽山へ誘う駐車場の確保など利活用の検討を行います。</p>		
	<b>取 組 内 容</b>	<p>城址周辺道路整備          ・車道整備工事着手（5月）完成（8月）          ・県庁前交差点舗装工事着手（6月）完成（8月）          ・交通信号機改良工事着手（6月）完成（8月）          水道記念館の利活用          ・関係所属と情報共有（2月）          三秀公園再整備          ・地元協議の実施（1月、2月）</p>	
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
	城址周辺道路の工事（繰越分）完成	:	9月
	水道記念館の利活用についての検討	:	3月
	三秀公園の利活用についての検討	:	3月
<b>成 果 ・ 課 題</b>	<p>城址周辺道路整備については、国体・障スポまでの完成に向けて工程管理を行い、予定通り工事を完了することができました。</p>		
	<p>水道記念館については、足羽山公園遊園地のハピジャン開園に合わせ、シャトルバスの発着場や自家用車の臨時駐車場として、また、三秀公園については福井国体の臨時駐車場として活用しました。来年度も同様の活用を行います。</p> <p>現在、福井市財政再建計画において、両施設の利活用に関する事業が先送りされていますが、事業再開に向け、地元及び関係所属等と引き続き協議し、検討を行います。</p> <p>なお、三秀公園については、良質な残土の受け入れによる盛土整地等を行い、可能な対応を図っていきます。</p>		




- ・歴史や自然など地域の特性を活かした景観を守り、創り、育て、良好な景観を形成します


5	県都にふさわしい良好な景観形成	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
<b>目 標</b>	<p>平成 28 年度に設立した「福井城址通りを考える会」とともに、県庁線沿線の景観づくりの検討を行い、建物のデザインや敷地内の建物の配置といった景観形成のルールを作成することで、城址と一体となった歩いて楽しいまち並みの実現に向けた景観誘導を推進します。</p> <p>また、福井城址周辺地区における特定景観計画区域の追加指定や、民間活力による県都にふさわしい景観形成の支援に取り組みます。</p>		
<b>取 組 内 容</b>	<p>民間活力による県都にふさわしい景観形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 次募集（申請 3 件、交付 2 件）(4 月～5 月)</li> <li>・第 2 次募集（申請 5 件、交付 4 件）(5 月～8 月)</li> </ul> <p>県庁線沿線におけるまちづくり勉強会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福井城址通りを考える会を開催（8 月、11 月、3 月）</li> </ul> <p>特定景観計画区域（福井城址周辺地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 38 回景観審議会（答申最終案）(9 月)</li> <li>・市長答申（9 月）</li> <li>・第 35 回都市計画審議会において意見聴取（12 月）</li> <li>・告示（1 月）</li> </ul>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<p>民間活力による県都にふさわしい景観形成への支援 : 6 件</p> <p>県庁線沿線におけるまちづくり勉強会の開催 : 2 回</p> <p>福井城址周辺地区における特定景観計画区域の追加指定 : 1 ゾーン</p>		<p>民間活力による県都にふさわしい景観形成への支援 : 6 件</p> <p>県庁線沿線におけるまちづくり勉強会の開催 : 3 回</p> <p>福井城址周辺地区における特定景観計画区域の追加指定 : 1 ゾーン</p>	
<b>成 果 ・ 課 題</b>	<p>民間活力による県都にふさわしい景観形成については、支援件数が 6 件と目標を達成しました。来年度も、チラシや広報紙などによる周知に努め、支援件数の増加を図ります。</p> <p>県庁線沿線においては、歩いて楽しいまち並みの実現に向け、沿線住民と協議を重ね、県庁沿道景観まちづくり計画（案）を作成しました。</p> <p>福井市景観審議会では、平成 26 年度から福井城址周辺地区における景観形成のあり方について、審議し、今年度、市長に対し、当該地区内の福井城址周辺ゾーンに係る答申をしました。その答申を踏まえ、福井都心地区特定景観計画区域に、新たな「福井城址周辺ゾーン」を追加指定しました。来年度より、景観法及び福井市景観条例に基づく届出制度や支援制度を活用し、良好な景観形成の誘導に取り組みます。</p>		


- 人口減少が進展するなか、居住や都市機能の適正な誘導を図り、福井の地域特性に応じた公共交通ネットワークの構築に取り組むことで、一定の人口密度が維持されたコンパクトなまちづくりと公共交通が連携した持続可能な都市づくりを推進します

6	立地適正化計画の策定	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
<b>計 画</b>	<p>これからの人口減少を見据え、公共交通と連携したコンパクトなまちづくりを進めるため、都市計画マスタープランとの整合を図りながら、立地適正化計画の策定に取り組みます。</p> <p>平成 28 年度末に、市街化区域の内側に医療、福祉、商業などの都市機能の立地を誘導する都市機能誘導区域を定め、平成 29 年度には居住を誘導する居住誘導区域の素案を作成しました。</p> <p>平成 30 年度には、居住誘導区域を設定します。</p>		
	<b>取 組 内 容</b>	<p>立地適正化計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福井市都市計画マスタープラン推進本部 部会開催（5 月）</li> <li>・福井市都市計画マスタープラン推進本部 幹事会開催（6 月）</li> <li>・第 7 回立地適正化計画検討専門会議開催（7 月）</li> <li>・福井市都市計画マスタープラン推進本部会議開催（8 月）</li> <li>・パブリック・コメント実施（9 月）</li> <li>・第 8 回立地適正化計画検討専門会議開催（11 月）</li> <li>・福井市都市計画審議会開催（12 月）</li> <li>・福井市立地適正化計画（居住誘導区域の設定）の策定（3 月）</li> </ul>	
<b>指 標</b>			
<b>計 画</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
居住誘導区域の設定		居住誘導区域の設定	
<b>成 果 ・ 課 題</b>	<p>居住誘導区域の設定に向けて、福井市都市計画マスタープラン推進本部会議、立地適正化計画検討専門会議、福井市都市計画審議会の中で協議や意見聴取を行い、3 月に福井市立地適正化計画（居住誘導区域の設定）を策定しました。</p> <p>今後は、庁内の関係各課の連携・調整のもと、「福井市都市計画マスタープラン」に基づき、総合的な評価・検証を行いながら、目指すべき将来都市像を実現していきます。</p>		


7	適正な土地利用及び街路整備の推進	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
<b>目 標</b>	<p>福井市身近なまちづくり推進条例の制度を活用して、まちづくり組織に対するアドバイザーの派遣などを行い、地域の特性を踏まえたきめ細やかなまちづくりを支援することで、適正な土地利用を進めていきます。</p> <p>今年度は、まちづくり組織である「一本木地区の未来を考える会」が作成したまちづくり計画の推進を図るため、用途地域の変更などに取り組みます。</p> <p>また、幹線道路の骨格づくりを推進するため、未整備の都市計画道路について、計画的に整備を進めます。</p>		
<b>取 組 内 容</b>	<p>用途地域の変更及び地区計画の決定（一本木地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地権者等より用途地域変更についての提案書及び地区計画決定についての申出書の提出（5月）</li> <li>・都市計画提案審査会の開催（8月）</li> <li>・住民説明会の開催（9月）</li> <li>・都市計画審議会の開催（12月）</li> <li>・用途地域変更及び地区計画決定の告示（1月）</li> </ul> <p>都市計画道路の計画的な整備に向けた主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（都）高架側道3号線の完成（6月）（都）JR東線の完成（7月）</li> <li>・（都）松岡菅谷線の整備（9月）（都）東口北線の完成（1月）</li> <li>・（都）高架側道2号線の完成（3月）（都）志比口開発線の整備（3月）</li> </ul>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<p>用途地域の変更（一本木地区） 都市計画道路整備率 ： 83.3%（29年度）      83.7%（30年度）</p>		<p>用途地域の変更（一本木地区） 都市計画道路整備率 ： 83.7%</p>	
<b>成 果 ・ 課 題</b>	<p>用途地域の変更に向けて、都市計画提案審査会の開催など都市計画提案制度に基づく手続を行い、住民説明会及び都市計画審議会を開催し、用途地域の変更を行いました。同時に、地区内の既存建築物の立地状況等を踏まえ、住みよい住環境の維持を図るため、地区計画を決定しました。今後も、地域の特性を踏まえたきめ細やかなまちづくりを支援することで、適正な土地利用を進めていきます。</p> <p>福井駅付近連続立体交差事業の進捗に伴う関連道路や（都）松岡菅谷線の事業区間が完成し、都市計画道路の整備率が進捗しました。引き続き、都市計画道路の進捗を図り整備率の達成を目指します。</p>		


8	地域鉄道の利用促進と利便性の向上	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	<p>福井鉄道福武線とえちぜん鉄道について、継続的な運行支援を行います。</p> <p>また、利便性を向上させるために整備してきた駅舎やパークアンドライド駐車場のPRを事業者、沿線自治体と取り組むことで、更なる利用者増を目指します。</p> <p>さらに、様々なイベントを行える「田原町ミュージ」を活用し、地域住民と連携し、鉄道の魅力向上に取り組むことで、新規利用者を獲得します。</p>		
取 組 内 容	<p>福井鉄道及びえちぜん鉄道の運行支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各鉄道事業者の形成計画に基づき、修繕や施設整備・改善、及び鉄道運行を支援</li> <li>鉄道施設の整備及び改良支援</li> <li>・高架化3駅（福井駅、新福井駅、福井口駅）の供用開始【えち鉄】（6月）</li> <li>・越前島橋駅にパークアンドライド駐車場（30台）を整備【えち鉄】（6月）</li> <li>・花堂駅パークアンドライド駐車場の舗装による増設（10台）【福鉄】（10月）</li> <li>・花堂北踏切の改良【福鉄】（3月）</li> </ul> <p>各団体（サポーターズクラブ、サポート団体、連携協議会、沿線市町）による利用促進支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポーターズクラブの通年加入募集・受付【えち鉄】</li> <li>・「麻生津地区観月の夕」とのタイアップ【福鉄】（9月）</li> <li>・福武線を利用した国体観戦利用促進チラシの配布【福鉄】（9月）</li> <li>・「カーフリーデーふくい」にて、公共交通のPRブースを設置【えち鉄、福鉄】（9月）</li> <li>・映画「えち鉄物語」公開【えち鉄】（11月） 1月末時点 県内観客数約2.4万人</li> <li>・パークアンドライド駐車場パンフレットの作成、活用【えち鉄】（3月）</li> </ul> <p>田原町ミュージにおけるイベントでの鉄道PR</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境フェアにて鉄道乗車イベント及びブース出展【えち鉄】【福鉄】（6月）</li> </ul>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<p>えちぜん鉄道・福井鉄道の乗車人数</p> <p>： 559万人（29年度）</p> <p style="text-align: center;">562万人（30年度）</p>		<p>えちぜん鉄道・福井鉄道の乗車人数</p> <p>： 573万人（見込み）</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>今年度の乗車人数見込みは約573万人となっており、順調に推移しています。えちぜん鉄道の高架駅の完成、パークアンドライド駐車場の拡充などのハード整備の効果もあり、継続的な通勤利用者・通学利用者の獲得に繋がったと考えられます。</p> <p>また、鉄道事業者においては、沿線の学校や企業を訪問し、定期券やお得な切符などの周知広報に努め、利用者の増加を図っております。さらに、沿線住民からなるサポート団体等による利用促進活動も進められております。</p> <p>来年度も、両鉄道の運行支援を通じて経営の安定化を図り、更なる利用促進に努めます。</p>		

9	バス路線の維持と地域実情に応じたバス交通サービスの確保	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
<b>目 標</b>	<p>人口減少が進展するなか、交通事業者や地域住民等と連携し、バス路線の維持やサービスの提供により市民の移動利便性の確保に努めることで、バス利用者の減少をくい止めます。</p> <p>また、公共交通空白・不便地域等において地域実情に応じた交通手段を確保するため、地域バスの運行や地域コミュニティバス等の運行支援、バス路線の再編等を行います。</p> <p>さらに、前年度住民アンケートを実施した清水グリーンラインでは、地域住民・事業者とともにバスのあり方や利用促進策について協議し、需要が見込まれる「買い物」「娯楽・食事」利用などについて、大学とも連携しながら、実態調査や利用方法の提案を行い、利用者の掘り起こしに努めます。</p>		
<b>取 組 内 容</b>	<p>バス路線の再編</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バス再編を実施（ジャンボタクシー路線化、循環路線化など）（4月）</li> <li>・森田地域コミュニティバスの運行事業者選定会議を実施（7月）</li> <li>・活性化会議検討会にて、東郷地域コミュニティバスの運行可能性について協議（7月）</li> <li>・10月の路線再編に向け、交通事業者、関係機関等と協議。また、沿線住民に対し、交通事業者と連携して説明会、周知広報を実施（4月～）</li> <li>・路線バス再編を実施（ジャンボタクシー路線化、ルートの見直し、減便など）（10月）</li> <li>・森田地域コミュニティバス試行運行開始（10月）</li> <li>・池田線の廃止に伴う代替手段の検討（10月～）</li> <li>・東郷地域コミュニティバス運行事業者選定会議を実施（3月）</li> </ul> <p>利用促進、利用者の掘り起こし</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福井大学の学生と、福井市の公共交通について意見交換会を実施（5月）</li> <li>・清水西公民館にて、公共交通について考える出前講座を全3回実施（6月～）</li> <li>・越前海岸ブルーライン活性化プロジェクトの地元意見交換会に出席（8月～）</li> <li>・カーフリーデーの実施（9月）</li> <li>・殿下地区にて、地域コミュニティバスの利用促進について協議（12月）</li> <li>・森田地区にて R E F（特定非営利活動法人福井地域環境研究会）出前講座を実施（2月）</li> <li>・広報課と連携して公共交通 P R 番組を作成（3月）</li> </ul>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
バス乗車人数 : 291 万人		バス乗車人数 : 300 万人（見込み）	
<b>成 果 ・ 課 題</b>	<p>今年度は全体でのバス乗車人数見込みは 300 万人となり、目標の達成が見込まれます。</p> <p>路線の延伸や沿線住民との利用促進活動により越前海岸ブルーラインや清水グリーンラインなどの幹線軸路線の乗車数が増加しました。また、運動公園線、学園線といった市内中心部における路線での乗車数も大幅に増加しました。</p> <p>一方、運転手不足や交通網効率化の観点から再編を行った乗合タクシー路線については、利用が伸び悩んでいます。乗継利用についての抵抗感が強いことや、そもそもの利用方法や行き先、乗合タクシーになって生じた利点などの周知が不十分であることも考えられます。</p> <p>今後は、事業者や地域と連携しながら、路線バスについての情報発信、また、郊外部における乗合タクシーについての周知などを行い、乗車数の増加を図ります。</p>		

10	市営駐車場の適正な運営	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
<b>目 標</b>	<p>安全かつ快適に市営駐車場を利用できるよう、施設の修繕等を計画的に実施し、指定管理者とともに利用促進の取組を行い、適正で効率的な運営を図ります。</p> <p>また、福井駅周辺の駐車場の需要調査を行い、北陸新幹線福井開業時に必要となる駐車場容量の確保に向けた駐車場整備計画の見直し検討を進めます。</p>		
	<b>取 組 内 容</b>	<p>施設の維持管理</p> <p>[ 大手 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天井構造物落下対策工事（4月～3月）</li> <li>・3階屋上車止め設置等工事（8月～10月）</li> </ul> <p>[ 大手第2 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横行パレット駆動軸・従動車輪修繕（7月～8月）</li> <li>・料金管理設備の部分変更業務（6月～3月）</li> <li>・制御盤及び電気部品交換修繕（10月～3月）</li> </ul> <p>[ 本町 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・台車走行用インバータ修繕（6月～9月）</li> <li>・出庫バース可動床駆動部修繕（6月～9月）</li> <li>・料金管理設備の部分変更業務（6月～3月）</li> <li>・台車エアシリンダ・ソレノイドバルブ交換修繕（12月～3月）</li> </ul> <p>施設の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくい春まつり駐車30分無料サービス実施（本町）（4月）</li> <li>・駐車促進キャンペーンの実施（本町）（8月～3月）</li> <li>・街頭広報活動でのチラシ配布（本町）（7月、12月）</li> </ul> <p>駐車場整備計画の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福井市駐車場整備計画見直し調査業務（8月～3月）</li> </ul>	
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<p>大手・大手第2・本町通り地下駐車場の利用台数 ： 58.2万台（29年度）      59万台（30年度）</p>		<p>大手・大手第2・本町通り地下駐車場の利用台数 ： 55.6万台</p>	
<b>成 果 ・ 課 題</b>	<p>駐車場を、安全、便利に利用できるよう、施設の修繕など適正な維持管理に取り組みましたが、駐車場利用台数の目標を達成することは出来ませんでした。</p>		
	<p>国体・障スポ関係者による大手第2駐車場の貸切利用、近隣映画館の閉館による本町通り地下駐車場の利用台数減が、要因と考えています。また、安価な屋外コインパーキングが積雪で利用できなくなる冬期間においては、立体駐車場である市営駐車場の利用が増加する傾向にあります。今期は好天が続き、その傾向が見られなかったことも一因であると考えています。</p> <p>来年度は、本町通り地下駐車場において新たな利用促進策を実施するとともに、引き続き、適切な維持管理に努め、安全で快適な駐車場サービスの提供を行います。</p> <p>また、今年度、福井駅周辺の駐車場調査を行い、北陸新幹線開業時に必要となる駐車場容量を検討しています。来年度は、福井駅東口周辺の駐車場の確保に向けて検討します。</p>		


・交通事故の少ない安全で安心なまちをつくるため、交通安全対策を推進します

11	交通安全対策の推進	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	<p>交通事故を未然に防止するため、交通安全推進団体や関係機関と連携して、四季の交通安全運動をはじめとする交通安全普及啓発事業を実施します。</p> <p>また、各地域の高齢者や幼児・児童を対象にした交通安全教室では、教育効果の高い体験型教室を重点に実施し、市民一人ひとりの交通安全意識の向上を図り、交通事故の少ない安全で安心なまちづくりを推進します。</p> <p>また、今年度は「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会が開催されるため、交通安全推進団体や県、警察、国体推進部等と連携し、「おもてなしの第一歩」としての交通マナー向上に一層取り組むとともに、開催期間中は、交通指導員による交通整理などを行い、交通事故防止に努めます。</p>		
	取組内容	<p>交通安全推進団体等と連携した交通安全普及啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四季の交通安全市民運動の実施（春、夏、秋、年末）</li> <li>・福井市にぎわい交流施設「ハピテラス」において、『交通安全広場』の開催（5月）</li> <li>・アオッサ8階 県民ホールにおいて、『高齢者交通安全大会』の開催（8月）</li> <li>・交通指導員による一斉街頭指導の実施（福井運動公園周辺8月、ベル周辺12月）</li> </ul> <p>高齢者や幼児・児童等を対象にした交通安全教室実施（随時）</p> <p>幼児：81回4,484人、児童：35回1,094人、高齢者：89回1,602人、その他：39回290人 合計：244回7,470人（うち体験型教室105回4,233人）</p> <p>国体・障スポ開催に向けた交通マナー向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通マナー向上ステッカーの公用車への貼付（6月～10月）</li> <li>・啓発チラシの配布（春、夏、秋の交通安全市民運動実施時）</li> <li>・庁舎内や公民館での啓発ポスターの掲示（4月～10月）</li> <li>・福井駅前及び福井運動公園周辺での警察や交通安全推進団体と合同の一斉街頭啓発の実施（9月）</li> </ul>	
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<p>体験型交通安全教室回数 ： 92回（29年度）      100回以上（30年度）</p>		<p>体験型交通安全教室回数 ： 105回</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>自動車と人形の衝突を見せたり、実際に横断歩道を渡ってみたりなど、教育効果が高い体験型教室に重点を置いて事業を行った結果、体験型交通安全教室を目標以上の回数実施できました。また、国体・障スポの開催にあわせて交通マナー向上の啓発活動を行い、大会に際しての大きな交通事故を防止することができました。</p> <p>今後も引き続き、体験型教室を中心に交通安全教室を実施するとともに、交通安全推進団体や関係機関と連携して、四季の交通安全運動をはじめとする交通安全普及啓発事業を実施することで、交通安全の啓発を推進し、交通事故防止に努めます。また、国体・障スポの開催に向けて向上を図った交通マナーについて、更なる向上を目指し、啓発活動を実施していきます。</p>		


12	高齢者の交通事故縮減	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	<p>高齢者向けの交通安全教室の開催等により、高齢者の交通安全意識の向上を図るとともに、高齢者の交通事故の縮減に努めます。</p> <p>また、高齢運転者による交通事故を防止するため、今年度は高齢者運転免許自主返納支援事業の申請について郵送受付を開始するなど、支援事業をより利用しやすいものとしていくとともに、高齢者が集まる場所での啓発イベント等の開催や、交通安全推進団体や関係機関と連携しての啓発に努めることで、運転免許の自主返納を促します。</p>		
	取 組 内 容	<p>高齢者の交通安全意識の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者を対象にした交通安全教室の実施（随時）</li> <li>・アオッサ 8 階 県民ホールにおいて、『高齢者交通安全大会』の開催（8 月）</li> </ul> <p>高齢者運転免許自主返納支援事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郵送申請の受付開始（6 月）</li> <li>・出前講座による広報、啓発（中央公民館 8 月、旭公民館 11 月）</li> <li>・警察と連携した運転免許自主返納及び返納支援の合同受付、啓発イベント （すかつとランド九頭竜 7 月、市役所 1 階市民ホール 8 月、鷹巣公民館 11 月、 清水保健センター 11 月、ハピリン 4 階ボランティアセンター 11 月）</li> </ul>	
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<p>高齢者運転免許証自主返納者数 ： 839 人（29 年）      900 人以上（30 年）</p>		<p>高齢者運転免許証自主返納者数 ： 772 人</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>高齢者運転免許自主返納について、支援事業の郵送申請の受付開始や、警察と連携した運転免許自主返納及び返納支援の合同受付の実施などにより、返納しやすく支援を受けやすい環境づくりを進めました。</p> <p>しかし、平成 29 年 3 月の道交法改正（75 歳以上の方の運転免許更新時の認知機能検査の厳格化等）の影響が落ち着いたことなどから、高齢者の運転免許自主返納数は前年を下回り、目標に達しませんでした。</p> <p>来年度は、県内の JR 北陸本線にて IC カード乗車券「ICOCA（イコカ）」が導入されたことを踏まえ、支援の選択肢に「ICOCA（イコカ）」を追加して内容を拡充するとともに、高齢者が集まる場所での啓発イベントの開催や、交通安全教室、出前講座などの実施により、高齢者の運転免許自主返納を促し、交通事故の縮減に努めます。</p>		





・関係機関と連携し、高速交通ネットワークである北陸新幹線の開業に向けた施策の検討に積極的に取り組みます

13	北陸新幹線の建設促進	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	<p>北陸新幹線用地については、昨年度、県内に先駆けて見込みを含め 100%の取得率を達成し、また、すべての区間で高架橋やトンネルなどの工事が発注され、北陸新幹線の平成 34 年度末福井開業に向けて実に進められています。</p> <p>今後も関係機関と一体となって一日も早い大阪までのフル規格での整備について取り組みます。</p> <p>また、新幹線福井駅舎と合築される東口拡張施設については、利便性及び快適性に優れた施設となるよう、基本設計を基に鉄道・運輸機構や関係機関と連携、調整し実施設計に取り組みます。</p> <p>さらに、平成 34 年度末開業予定の並行在来線の開業準備については、福井県並行在来線対策協議会による収支予測、経営基本調査及び今年度策定される経営・運行に関する基本方針をもとに、沿線市町と連携を図り開業準備に必要な協議を進めます。</p>		
取 組 内 容	<p>○北陸新幹線建設促進に係る取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸新幹線関係都市連絡協議会総会（福井県あわら市）(5月 11 日)</li> <li>・北陸新幹線建設促進大会（東京都）(5月 22 日)</li> <li>・福井市北陸新幹線建設促進協議会総会（福井県国際交流会館）(7月 13 日)</li> <li>・北陸新幹線関係都市連絡協議会中央要望（7月 19 日）</li> <li>・市重要要望及び市協議会中央要望（7月 31 日）</li> <li>・福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会（敦賀市プラザ萬象）(9月 15 日)</li> <li>・北陸新幹線関係都市連絡協議会総会（長野県上田市）(10月 19 日)</li> <li>・北陸新幹線関係都市連絡協議会中央要望（11月 14 日）</li> <li>・北陸新幹線研修会（京都府京都市）(2月 1 日)</li> </ul> <p>北陸新幹線福井駅東口拡張施設実施設計</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道・運輸機構及び関連機関との調整（4月～）</li> <li>・実施設計（5月～3月）</li> </ul> <p>鉄道・運輸機構と連携し、新幹線福井駅の平面図、外観図及び内観図等を決定</p> <p>並行在来線の開業準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・並行在来線沿線市町担当課及び担当部長会議開催（4月 24 日、9月 19 日、10月 30 日、1月 31 日）</li> <li>・先進地視察（富山県、石川県）(5月 16 日、10月 31 日)</li> <li>・福井県並行在来線対策協議会幹事会開催（5月 31 日）</li> <li>・福井県並行在来線対策協議会開催【経営・運行に関する基本方針を策定】(8月 2 日)</li> <li>・福井鉄道と並行在来線の一体的経営に関する連絡会議開催（8月 17 日、10月 30 日、1月 28 日）</li> </ul>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
北陸新幹線福井駅東口拡張施設実施設計 並行在来線関連調査実施		北陸新幹線福井駅東口拡張施設実施設計 並行在来線関連調査実施	
成 果 ・ 課 題	<p>北陸新幹線建設促進に係る取組として、2月に関係都市連絡協議会において、関西自治体との合同研修会を実施したことにより、北陸や関西の沿線自治体との連携を深め、大阪までの早期全線整備に向けて情報を共有することができました。今後は、国に対し、関係機関と一体となって、一日も早い大阪までのフル規格での整備や財源確保について、引き続き強く要望していきます。</p> <p>福井駅東口拡張施設実施設計については、新幹線福井駅舎の設計を行う鉄道・運輸機構や関係機関と協議を重ね実施設計の平面図、外観図及び内観図等を取りまとめました。</p> <p>並行在来線の開業準備については、視察などにより、先行事例の利用促進策や並行在来線会社出資金負担の考え方等の調査を行いました。また、8月に福井県並行在来線対策協議会が開催され、「経営・運行に関する基本方針」を策定することが出来ました。今後は、平成 32 年度末に予定している経営計画の策定に向け、引き続き必要な調査や協議を進めます。</p>		


・市民・来街者の身近な移動手段である自転車を都市交通の一つとして再認識し、自転車を利用して安全で快適に移動できるまちをつくります

14	自転車走行空間整備の推進	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
<b>目 標</b>	<p>自転車安全で快適に走行できるよう、自転車走行空間の整備を進めます。          市中心部において、これまで実施してきた歩道内での通行分離の路線に加え、矢羽根型路面表示の路線を組み合わせて、通学経路のネットワーク化を実現するため、関係機関と協議して整備路線を選定します。</p>		
	<b>取 組 内 容</b>	<p>自転車走行空間整備路線（矢羽根型路面表示）の選定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地調査（4月）</li> <li>・関係所属会議（監理課、道路課）（4月）</li> <li>・通行量調査（5月）</li> <li>・整備路線の検討（6月～7月）</li> <li>・関係所属会議（監理課、道路課）（8月）</li> <li>・公安委員会との協議（9月）</li> <li>・高校生の自転車通学が多い道路での矢羽根型路面表示整備路線計画書の作成（9月）</li> </ul> <p>【整備路線】（3路線）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市道中央1-359号線（県庁東側）</li> <li>市道中央1-463号線（北陸高校東側）</li> <li>市道中央1-212号線（福井商業高校南側）</li> </ul>	
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
市中心部における自転車走行空間整備路線（矢羽根型路面表示）の選定 : 9月		市中心部における自転車走行空間整備路線（矢羽根型路面表示）の選定 : 9月	
<b>成 果 ・ 課 題</b>	<p>矢羽根型路面表示の整備について、現地調査や通行量調査を行い、関係機関との協議を重ね、高校生の自転車通学が多い道路での整備に向けて3路線を選定することができました。</p> <p>来年度以降は、関係機関と連携を図り、市の道路整備計画に合わせて通学経路のネットワーク化の実現に取り組みます。</p>		

15	自転車の利用促進と利便性の向上	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	<p>自転車利用の促進を図るための自転車利用サポーター認定事業、まちなかでの利便性や回遊性の向上を図るためのまちなかレンタサイクル「ふくチャリ」事業を推進します。</p> <p>サイクリングコースについては福井駅を発着とした広域コースを設定し、ホームページ等でPRします。</p>		
	取 組 内 容	<p>自転車利用サポーターの認定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポーター認定企業、取組内容をホームページで紹介(4月～)</li> <li>・サポーター実績報告書提出依頼(8月～)</li> <li>・認定更新の案内(8月)</li> </ul> <p>まちなかレンタサイクル「ふくチャリ」の事業推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ、フェイスブックによる情報発信(4月～)</li> <li>・幸-FULLチケットとの連携(4月～)</li> <li>・広報活動(広報番組出演、まっふる・URALLA・市政広報)(5月～)</li> <li>・自転車イベントへの出展(5月)</li> <li>・パンフレット作成(6月)</li> <li>・福井商工会議所ビル新ポート開設(7月)</li> <li>・会員特典の拡充(7月～)</li> <li>・国体期間中における福井駅周辺ポートの自転車を増台(4台)(9月～10月)</li> </ul> <p>広域サイクリングコースのホームページ掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との協議や危険箇所を把握する現地調査の実施(9月～10月)</li> <li>・広域サイクリングコースの選定(10月)</li> <li>・ホームページ掲載準備(11月～)</li> <li>・ホームページ掲載(3月末)</li> </ul>	
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<p>自転車利用サポーターの認定団体数(累計)</p> <p>： 55社(29年度)                      60社(30年度)</p> <p>ふくチャリの自転車利用回数</p> <p>： 6,059回(29年度)                      6,300回(30年度)</p> <p>広域サイクリングコースのホームページ掲載</p> <p>： 3月</p>		<p>自転車利用サポーターの認定団体数(累計)</p> <p>： 60社</p> <p>ふくチャリの自転車利用回数</p> <p>： 6,620回</p> <p>広域サイクリングコースのホームページ掲載</p> <p>： 3月</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>自転車の利用に積極的に取り組む企業を訪問し、自転車利用サポーター事業への理解と協力を求める働きかけをしたことにより認定団体数の目標を達成することができました。今後は、認定団体の取組内容のPRの強化に取り組んでいきます。</p> <p>まちなかレンタサイクル「ふくチャリ」は、平日の利用促進や、国体期間中における福井駅周辺ポートの自転車の増台、新規ポートの開設などに取り組んだ結果、目標を達成することができました。今後は、新幹線開業に向けて更なるポートの新設や自転車の増台を図り、2次交通としての機能強化に取り組めます。</p> <p>広域サイクリングコースの選定及びホームページ掲載については、関係機関等と連携を図ることにより実施することができました。今後は、SNS等を活用してサイクリングコースを広くPRし、サイクリング愛好者への利便性向上を図ります。</p>		

16	サイクルアンドライド事業の推進	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
<b>目 標</b>	<p>人や環境にやさしい交通手段である自転車と、鉄道などの公共交通機関と合わせて利用するサイクルアンドライドを推進するため、鉄道駅に自転車駐車を整備します。</p> <p>また、自転車の利用環境の改善と利便性の向上を図るため、利用者の多い自転車駐車場に自動空気入れを設置します。</p>		
<b>取 組 内 容</b>	<p>えちぜん鉄道福井口駅自転車駐車場整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地調査及び関係機関との打合せ（4月）</li> <li>・県補助金要望書提出（4月）</li> <li>・県補助事業採択通知（6月）</li> <li>・県補助金交付申請、交付決定通知（6月）</li> <li>・えちぜん鉄道福井口駅自転車駐車場整備、供用開始（6月）</li> <li>・9月議会にて設置管理条例改正（9月）</li> </ul> <p>自動空気入れ設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県補助金要望書提出（4月）</li> <li>・県補助事業不採択決定（6月）</li> </ul>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
鉄道駅自転車駐車場整備箇所	： 1箇所	鉄道駅自転車駐車場整備箇所	： 1箇所
自動空気入れ設置	： 1箇所	自動空気入れ設置	： 0箇所
<b>成 果 ・ 課 題</b>	<p>えちぜん鉄道の高架化に伴い設置された新しい福井口駅に自転車駐車を整備しました。今後は、鉄道事業者と連携し、放置自転車の撤去等を行い自転車駐車場の適正な管理に努め、利用環境の改善を図ります。</p> <p>自動空気入れ設置については、当初予定していた県補助事業が不採択となったため実施しないこととなりました。今後は、公共施設やコンビニ等において、空気入れや簡易工具の貸出を行っている「自転車の駅」の利用啓発を強化し、自転車利用者の利便性の向上に努めます。</p>		

- 行政課題の解決に向けて、調査・分析力を高め、各種統計調査の積極的な利活用を図るとともに、公共データの活用を促進するため、積極的に行政情報を提供します

17	統計調査等の分析	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
<b>目 標</b>	<p>施策検討への統計データ利活用の促進のため、統計データベースの充実やデータ分析方法などの各種相談業務を行います。</p> <p>中核市移行に向け、より地域の実情に即した施策が必要となり、今年度は平成 28 年経済センサスの結果が公表されることから、この統計情報を有効に活用し、中心市街地の産業特性等の分析を実施し、共有を図ります。</p>		
<b>取 組 内 容</b>	<p>経済センサスの結果を基にした産業別の雇用や売上、中心市街地の産業特性等に関する分析情報である「福井市の産業分析」を「データの広場」において共有（12月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産業構造（新設、廃業事業所数の推移など）</li> <li>他県との産業的な繋がり（本市に支所を置いている本社の所在地状況）</li> <li>雇用状況（正規・非正規の従業員割合の推移など）</li> <li>特徴的な産業（産業別の付加価値額の特化係数など）</li> <li>中心市街地（中心市街地と市場周辺との比較）</li> </ul> <p>統計データベースの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>庁内 WEB リンクから閲覧できる統計データベース「データの広場」に各所属が保有している統計データや国が公表している基幹統計調査等の集計結果を追加 統計データ数：920 データ（年度末時点） 年度更新による追加：153 データ、新規追加：67 データ</li> </ul> <p>職員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総務省統計研究研修所が実施するオンライン講座（7月、10月、1月） 受講者：14 所属より 19 名</li> <li>平成 30 年度統計分析研修会を実施（11月） 講師：福井大学 国際地域学部准教授 井上博行 氏 参加者 66 所属より 87 名</li> <li>「データの広場」の活用について新規採用職員研修及び統計分析研修会時に周知（10月、11月）</li> </ul> <p>相談支援業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>すまいるバス運行ルート再検討を目的とした人口分布図の作成（商工振興課）や社会増減数及び人口増減数の集計データ作成（都市整備室）等への支援 7 件</li> </ul>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
産業別の雇用や売上、中心市街地の産業特性等に関する分析 : 12月		産業別の雇用や売上、中心市街地の産業特性等に関する分析 : 12月	
<b>成 果 ・ 課 題</b>	<p>職員が統計データを活用することを目的として運用している統計データベースに、経済センサスや各所属から収集したデータを追加し充実を図りました。</p> <p>職員の統計利活用への意識を向上させるため職員研修を実施し、また、統計データを用いたグラフ作成等の問い合わせや相談に対応した結果、業務計画や会議の資料作成に利用されました。</p> <p>さらに、本市の施策検討等の基礎資料として共有するため、経済センサスの結果を基に産業面から福井市及び中心市街地の分析を実施し統計データの利活用を促進しました。</p> <p>今後も、引き続き分析情報の提供や相談対応を通して、本市職員の統計データ利活用能力の向上に寄与します。</p>		

18	オープンデータの充実・提供	達成度	
----	---------------	-----	---

**実 行 内 容**

**目 標**  
 公共データは市民共有の財産であるという意識の下、市民生活の向上、企業活動の活性化を図るため、「福井市オープンデータパーク」の充実に取り組むなど、積極的に行政情報を提供します。  
 また、今年は「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会が開催されることから観光客が多く見込まれるため、「公共交通」分野のオープンデータの充実・提供に取り組みます。

**取 組 内 容**  
 国体観戦ガイドアプリ開発事業（県）への協力  
 ・オープンデータの提供 5件（5月～9月）  
 「大会競技情報」、「大会会場情報」、「交通規制情報」、「シャトルバス情報」、「駐車場情報」  
 既存オープンデータの更新  
 ・「平成29年度版 福井市統計書」の公開に合わせて参照データを最新版に更新 13件（5月）  
 ・所属より更新依頼のあったデータについて更新（随時）  
 新規オープンデータの追加  
 ・バス鉄道時刻表データ等「公共交通」データ 9件（9月）  
 ・規模別事業所数データ等「仕事・産業」データ 9件（2月）  
 毎月人口オープンデータの集約・追加  
 ・1歳階級、5歳階級、3区分年齢別データを集約 8件 3件  
 ・福井市全域、地区別データを集約 6件 3件  
 ・過去（平成22年～30年）の毎月人口データの追加 5件

オープンデータ掲載件数

データ分野	H25	H26	H27	H28	H29	H30		
	掲載数	掲載数	掲載数	掲載数	掲載数	追加数	集約(減)	掲載数
生活・暮らし	7	7	8	10	10	-	-	10
公共交通	2	4	4	5	6	9	-	15
安全・安心	3	3	4	4	11	-	-	11
福祉・教育	6	6	6	7	9	-	-	9
仕事・産業	-	-	-	4	4	9	-	13
観光・文化	-	2	3	8	8	-	-	8
情報・通信	-	-	5	5	5	-	-	5
行財政	-	-	9	11	11	-	-	11
人口・統計	3	4	6	6	16	5	8	13
計	21	26	45	60	80	23	8	95

**数 値 指 標**

目 標	結 果 ・ 成 果
オープンデータ件数 ： 80件（29年度）      95件（30年度）	オープンデータ件数 ： 95件

**成 果**  
 ・  
**課 題**  
 本市ホームページ「福井市オープンデータパーク」に掲載しているデータを最新の状態に保つため、随時データの更新を行いました。  
 また、データ掲載件数の少なかった「公共交通」「仕事・産業」の分野を中心に、18件の新規データを「福井市オープンデータパーク」に公開し、目標を達成することができました。  
 さらに、市民ニーズの高い毎月人口データについて、データの集約と追加を行うことで利便性の向上を果たしました。  
 今後も、オープンデータの充実を図るため、引き続き公開データの更新や新規データを追加するなど積極的に行政情報の提供に取り組めます。

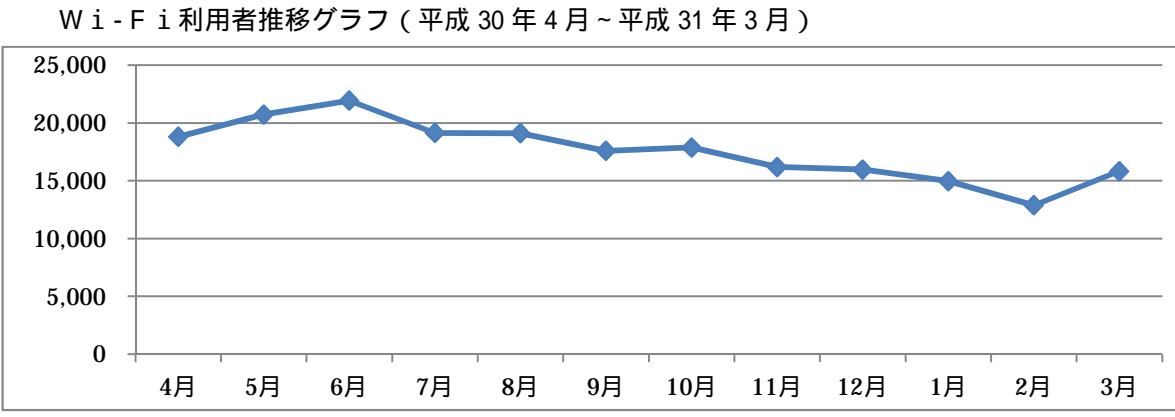
19	W i - F i (無線LAN) の利用促進	達成度	
----	-------------------------	-----	---

**実 行 内 容**

**目 標** 来街者や市民にとって、今やインターネットは趣味や娯楽だけのものではなく、観光地での情報収集に欠かせないインフラとなっており、本市では中心市街地を軸に誰でも簡単に利用可能な無料通信環境 (W i - F i) を整備しています。来街者や市民の利便性向上のため、広報紙等による広報活動を強化することで、認知度を高め多くの方に利用してもらえよう取り組みます。

**取 組 内 容**

ケーブルテレビでの広報  
 ・いきいき情報福井 (6月)  
 登録手続きが難しくなったことを受け、コールセンターの電話番号をホームページに掲載 (6月)  
 バスチケットセンターの撤去に伴い、東口広場エリアの機器移設先を検討  
 国体開催に合わせた広報  
 ・競技会場や宿舎となるホテルに利用促進チラシを配置 (9月)  
 ・福井駅内の国体総合案内所への利用促進チラシ配置 (9月)  
 ・農政企画室作成「福井市グルメコレクション」に掲載 (9月)  
 広報紙での広報  
 ・中央公園ビジターセンター及び足羽山公園遊園地にW i - F i のP Rステッカー貼付 (9月)  
 足羽山公園遊園地リニューアルに合わせた広報  
 ・足羽山公園遊園地リニューアル広報番組 (ふくチャンネル) 内でのW i - F i 紹介 (9月)




**数 値 指 標**

目 標	結 果 ・ 成 果
W i - F i 利用者数 : 20,637 人 / 月 (29 年度) 23,000 人 / 月 (30 年度)	W i - F i 利用者数 : 18,594 人 / 月

**成 果 ・ 課 題**

W i - F i の利用を促進するために各種広報を実施しましたが、今年度の利用者数は目標値を大きく下回り、前年度の実績値よりも少なくなりました。  
 目標数値に達しなかった要因としては、前年度に整備した足羽山公園遊園地及び田原町駅周辺の利用者の伸びや、福井国体開催による利用者増の見込みを誤ったためです。  
 また、福井駅東口広場エリアのサービス提供の休止、民間におけるW i - F i スポットの増加及びに国のセキュリティ方針により利用者登録を煩雑化したことから、利用者が増加しなかったものと考えております。  
 今後は、福井駅西口の再開発に併せてW i - F i 運営の方向性を検討していきます。

・適切で合理的な公共事業推進のため、監督職員の施工体制点検を通して公共工事の品質確保に努めます

20	公共工事の品質確保	達成度																				
<b>実 行 内 容</b>																						
<b>目 標</b>	工事現場の施工体制、技術者の適正配置、下請負等に関する各関連法規の厳守状況を点検し、適正な工事執行と品質確保を図ります。																					
	<p>第1回～第6回施工体制点検の監査を受けた件数・是正指摘件数の集計</p> <table border="1" data-bbox="229 622 1313 860"> <thead> <tr> <th>課 名</th> <th>是正指摘件数 (件) A</th> <th>監査を受けた件数 (件) B</th> <th>指摘率 (%) (A/B) × 100</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>都市整備室</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>駅周辺整備課</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>新幹線推進室</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3</td> <td>10</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table> <p>指摘を請けた工事名及び指摘内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・城址周辺車道整備工事（施工体制台帳の不備）</li> <li>・駐車場整備工事（工事掲示物の不備、労災保険票の誤記、施工体制台帳の不備）</li> <li>・駅補7号道路舗装工事（労災保険票の誤記）</li> </ul>			課 名	是正指摘件数 (件) A	監査を受けた件数 (件) B	指摘率 (%) (A/B) × 100	都市整備室	1	2	50	駅周辺整備課	1	7	14	新幹線推進室	1	1	100	計	3	10
課 名	是正指摘件数 (件) A	監査を受けた件数 (件) B	指摘率 (%) (A/B) × 100																			
都市整備室	1	2	50																			
駅周辺整備課	1	7	14																			
新幹線推進室	1	1	100																			
計	3	10	30																			
<b>取 組 内 容</b>																						
	<b>数 値 指 標</b>																					
<b>成 果 ・ 課 題</b>	<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>																			
	工事監察指摘率 : 20% (29年度)      0% (30年度)		工事監察指摘率 : 30%																			
<p>適正な施工体制のための受注者への指導や監督職員以外の職員による施工体制の点検を行なってきましたが、3件の工事において指摘があり、目標達成することが出来ませんでした。 来年度は、今年度に指摘された事項の調査と検証、複数体制による現場点検及び受注業者への指導強化を実施することで、適切な執行体制と工事の品質確保を目指していきます。</p>																						